

朗V連ニュース

ポシエツト

No. 114

発行日 平成 24 年 12 月 13 日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通 5 丁目 3 番 26 号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

第26回 朗V連交流会 盛況のうちに終わる

心配していた前日からの雨も止み、参加者の熱気に包まれて第 26 回朗読ボランティア連絡会交流会が 11 月 6 日 (火) 午後 1 時から兵庫県民会館「けんみんホール」にて開催されました。

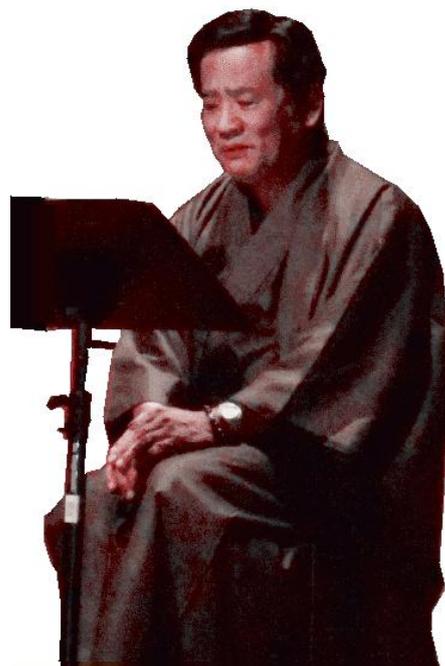
朗V連の 28 グループと一般参加の方も含め 197 名の方々にご来場いただき無事終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

第 1 部では、神戸草笛 (神戸市) と、グループ千草 (加古川市) の 2 グループによる朗読発表が行われました。研鑽のあとがうかがわれる朗読に、時には笑い声をあげ、またときには深い相槌を打ちながら、どなたも熱心に聞き入っておられました。どちらの作品にも男の人生が垣間見え、とても興味深い内容でした。

第 2 部では、俳優の南条好輝さんによる講演がありました。

前半の「曾根崎心中」では何人もの人物を演じ分け、迫力ある一人語りをお聞かせいただきました。本を手に語っているだけなのにまるで芝居を観ているような臨場感。朗読の持つ力のすごさを感じる舞台でした。控えめな照明も音響もとても効果的でした。

後半では楽しい語り口で、プロの俳優さんならではのマイクの使い方の秘密を惜しむことなくご披露下さいました。距離感の出し方や、ささやきで心の声を表現する方法など、なるほど！と納得です。また会場からも何人かご登場いただき、実際にマイクの使い方の指導をしていただきました。挑戦された方々も、初めて見る曾根崎心中の文章をすらすらと読み上げ、南条さんの難しい注文に見事に応えておられました。



第 1 部、第 2 部ともに充実した時間を過ごし、合間にはおしゃべりなどの交流も十分に深められたようです。楽しくあっという間の一日でした。

交流会にご参加くださった皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。貴重なご意見を真摯に受け止め、これからの活動につなげていきたいと思っております。

♪ 第1部で朗読発表を下された方々の声 ♪

朗読の会神戸草笛 西尾昭彦

「朗V連交流会に出演させていただいて」

お話を頂いた時、実はお断りをするつもりでした。講師の鈴木登志子先生が、腰痛で歩けない状態だったので、指導していただけないのではと思ったからです。しかし「大丈夫！教えます」の言葉に勇気づけられ前に進むことができました。

選んだのは田辺聖子の作品ですが、セリフを際立たせるために、地の文はあえて共通アクセントを用いました。技術不足で『お聖さんワールド』を十分に表現できなかった感がありますが、これを機に、さらなる向上を目指し、活動に取り組んで参ります。ありがとうございました。



グループ千草 堀 雅子

「デイジー化もあるし…」と尻込みする私達に、山田烈子先生から「チャンスを活かさないでどうするの？」と、激励のお言葉。いざ練習を始めてみたものの、中々うまく纏まりませんでした。

当日は私達のモットー「仲良く助け合って」無事に終わることが出来、ホッ…の一言に尽きます。「チャンスを活かして」よかった！

私達の朗読をお聴き下さった皆様、このような機会を下された朗V連幹事の皆様、どうも有難うございました。

これからも益々頑張っていきます。



♪ 交流会アンケートより皆さんの感想をご紹介します ♪

- ・ 作品をよく理解され、立派に読みこなしておられました。引き込まれました。
- ・ 「本来さん」楽しい朗読でした。どこの家庭にでもあるような出来事が目に浮かんで身につまされる場面劇でした。「驟り雨」さすが藤沢周平の作だな、重みがあるな。終わってからの余韻が心地良かった。
- ・ 日頃の練習にかなりの時間をかけられていることと思います。2組ともとても感情豊かで良かったです。朗読グループの発表はとても参考になります。
- ・ 一人語り、顔つきまでお初や徳兵衛にみえてくるリアルさ。いつカミソリで切るのやら…はらはらどきどき、首のあたりがむずむずとして困った。
- ・ 流石に「役者」さん、迫力、説得力があり、女言葉も嫌味なく自然に表現されて感動深い朗読でした。
- ・ マイクの使い方、とても納得しました。今度、どこかで試そうかな！「さらばでございます。さらば、さらばじゃ。」

第26回交流会に参加して

多田 まゆみ

Cブロック淡路地区岩屋の「グループちひろ」でございます。減りに減って総勢4名となり、隣接する「ひとみの会」様におんぶに抱っこして頂き、細々と続いています。

23年度24年度の朗V連のCブロックの当番となり、東根さんが神戸へ通っています。副代表として閉会の挨拶を終え、後片付けに走り回る彼女や他の幹事さん達の姿を見て、交流会も皆で作り上げているのだと実感しました。

朗読発表など他のグループの方々のご活躍も見られて楽しかったです。幹事様、皆々様、有難うございました。

NHK巡回朗読セミナー

10月9日(火)神戸会場25名、10月10日(水)姫路会場20名の方がNHK巡回セミナーを受講されました。長時間にわたってのセミナーでしたが、皆様熱心に取り組み、実り多き一日だったようです。講師の先生および受講者の皆様からの声を紹介します。

神戸会場Aコース

藤原 尚武 先生からのメッセージ

人と会話をする時は、どなたも顔が上がってすばらしい声で話ができるのに、書かれた文字を読むときはうつむき気味で声もやや他所ゆきの飾った声になってしまう・・・という事がよくあります。自身の話す声を確認する為に、教室では自己紹介を中心に原稿無しで話す練習に時間をかけました。その声で“朗読”したいと思ったからです。皆さんの読みが「話す様に読む」に、かなり近付いたと思います。

受講生 アンケートから抜粋

- * 初めて参加するので不安がいっぱいでした。上手に読まなくていい、“話す＝読む、相手に伝える耳で聴く”、先生が丁寧に分かりやすく教えてくださいました。
- * 朗読は文章を読むのではなく、気持ちで伝える（表現する）と言うことがテーマであり、そのためのポイントを教えてくださいました。
- * 話す言葉の大切さ、人に思いを伝えること・・・今までは文章に沿ってきっちり朗読するものと思っていましたが、聴いて頂く方に心地よく伝えられればと思います。

神戸会場Cコース

高橋 淳之 先生からのメッセージ

初めて聞かせて頂きました。とてもレベルが高く、聞いた音をすぐ表現できる耳のよさを皆さんに感じました。全体に関西イントネーションからくる極端な音の上げ下げが気になりました。これからも息を使って表現することを心がけて下さい。お疲れ様でした。

受講生 アンケートから抜粋

- * 息をうまく使って、次のセンテンスに入る前に準備をしておく、息のコントロールの大切さを学びました。作品の世界を人に伝えるためには作品によって体をコントロールすることが大事ということ、又改めて思いました。
- * 敷居の高いCコースを受けて大変でした。なかなか上手くはいかない様でしたが、又違う読みを教えてください良い勉強になりました。又聞き直して練習したいと思います。
- * 自己流にならない為にも、年に一度はこういうセミナーを受講することは大切だと思いました。

姫路会場Bコース

藤原 尚武 先生からのメッセージ

昼休みには、見事な声で見事な問いで見事な緩急で話している人も、教室でテキストを前にする・・・丁寧に読み上げてしまうという事がよく起きます。そこで私は、原稿なしで話す自己紹介を皆さんにお願いしています。その話すトーンが実に生き生きとしているのです。そのいきいきとした声を朗読に生かしたいと思うのです。



受講生 アンケートから抜粋

- * 姿勢を正しくして良い息使いで、会話文は“しゃべっている時と同じように・・・”、間の取り方、場面転換の時の声の表現の工夫など、自分の課題もたくさんありますが、朗読は単に本を読むのではなく聴き手に内容を伝える事が大切であると改めて感じました。このセミナーで学んだことを生かして自分の活動につなげていけるよう努力していきたいと思います。
- * 間の取り方、文章のつながり、意味を伝える、言葉を起こす、言いかえる、話すように語る。どれも大事な事ばかりでした。聞き手にその状況が浮かぶように話す、間を取ったら話し方を変える etc、沢山学ばせて頂きました。

姫路会場 C コース

伊藤 文樹 先生からのメッセージ

毎年大勢の方々が集まってくれる。皆さん積極的にセミナーに参加してくれる。やる気が感じられる。実習中心だが講師の要求や指示に答えて真剣に取り組んでくれた。時には手厳しい指摘にもよく堪えてくれた。同じグループの方々もあって和気あいあいと進んだ。

受講生 アンケートから抜粋

- * 毎回新たに気付かせて頂くことが多いです。今回は朗読の基本である聞き手に向って語ってゆくことを再確認をさせて頂きました。
- * 伊藤先生のアドバイスが適切で「話すように読む技（ワザ）」が理解できました。
- * マンツーマンのように指導を受けて、もう少し上を目指して頑張ってみようという意欲がわいてきました。

受講者の声

三木市朗読ボランティア「むれの会」 岩谷 智美

初めての参加で不安でしたが、受講者14名の内、5名が私達同期のグループで少し気持ちが楽に。自己紹介では朗読を始めた動機と納豆について思いつくまま語る。おしゃべりの雰囲気を保ちながら、話すように読むという事。正しい姿勢で聴き手に息を投げかける気持ちで届ける事。アクセントを意識しないで読むのは楽かと思いきや・・・そこに間をとる注意が有り、まだまだ何もかも大変だという事が良く解った。今までも難しいと思っていましたが・・・。

優しい先生のお蔭で朗読が楽しくなりそうです。少しずつでいいから進歩出来る様、取り組みたいと思います。

お知らせ

ポシエットがインターネットで見られます！

ポシエットが神戸ライトセンターのホームページに掲載されています。

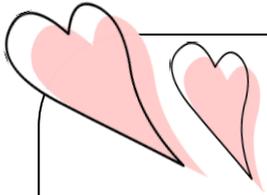
カラーで掲載されていてとても読みやすいですよ！

神戸ライトセンターのホームページ (<http://www.klc.jp>) を開き、所属団体の項目から「兵庫県朗読ボランティア連絡会」をクリックしてご覧ください。



第 15 回中山ワンダフルフェスタを終えて (西城秀樹コンサート)

10月12日(金)午後2時から神戸文化ホールにて「西城秀樹コンサート」が開催されました。今年も中山視覚障害者福祉財団様のご厚意により多くの朗V連メンバーが楽しいひと時を持つことが出来ました。私たちの活動にご支援とご理解を頂きありがとうございます。



中山ワンダフルフェスタに参加して

「言の葉」 田中通子

主催者挨拶の後、盲導犬貸与式があり、今までに26頭、今年は2頭が貸与されました。又、視覚障害者で活躍された3名の紹介とインタビューでのお話もありました。

私は毎年のように参加して、ハッピーな気持ちで家路についています。今回は、西城秀樹LIVE&TALKです。23年ぶりに、今年ブラジル公演に行かれた様子等のTALKを交えながら、ボルテージも上がり、会場一体になってYMCAを歌って踊って、感動のクライマックスでした。



KLCコンサートのご案内



2013年2月19日(火)に

「中山・KLCコンサート2013」が開催されます。
「みえない人、みえにくい人、みえる人 いっしょに音楽を！」を
コンセプトにクラシックを身近に感じていただける音楽会です。
ご参加希望のかたは神戸ライトセンター(KLC)運営協議会へ
お電話かメールでご連絡ください。

※ 詳しくは同封のチラシをご覧ください。
なお入場は無料ですが、指定席のチケット制となっています。

神戸ライトセンター(KLC)運営協議会

TEL : 080-4024-6664

HP : <http://www.klc.jpn.org/>

e-mail : kobelc2009@yahoo.co.jp



